

隣のあの子が恋愛相談
「おじちゃん、
エッチ教えて！」
1から始める性活指導

村夫子



学生時代から10年来のお付き合いの
お隣の母子家庭。
色々とお世話になっている大事な人たちだ。

お母さん、
今日の夕飯は？
手伝う

キスの英子だよ。
みひろが帰ってきてみるよ？

うん！

あなたも
来るでしょ？

はい、
ご馳走になります

大学在学中からこんな感じで
お世話になりつづけて、
いまや家庭教師になつて、
みひろちゃんがいれば英子さんが不在時に
面倒見たりもした。



でもそのお母さんとは
娘さんに秘密のセフレ関係…

※本編とは修正処理が異なります。

ある日娘さんから恋愛相談。
『処女は面倒くさいからイヤだ』っていうから
あたしの処女貰って！』



躊躇する俺に
「お母さんとはしてるのに？」
仕方なく覚悟を決めて初体験へ…



大事に思っていた女の子の処女を頂いちゃったあけくエッチの練習に励む日々...!?

悩みつつも彼女の幸せを祈る。彼女の恋愛成就なるか？




※本編とは修正処理が異なります



母
會田 梨紗

身長160センチ
B95、W60、H88

主人公より10歳年上




娘
會田 みひろ

身長152センチ
B86、W56、H80

主人公より10歳年下

隣のあの子が恋愛相談
「おじちゃん、エッチ教えて！」
1から始める性活指導

村夫N+2020



大学を卒業して無事就職し、
5年ほど経っていた。
仕事を終え、在学中から住んでいる
マンションへと歩を早める。

職場から近い事もあって
引っ越さずに住み続けているが、
引っ越さないにはもう一つ理由がある。



ただいま♡

あ、おじちゃん、
お帰りなさい

ただいま、
みひろちゃんもお帰り

隣に住んでいる會田みひろちゃん。
ここで暮らし始めてからのお隣さんだ。

もう10年ほどのお付き合いになる。
出会った当時はまだ小さかった。



あら、
ふたりともお帰りなさい

お母さんただいま

ただいま、
梨紗さんもお帰りなさい

彼女は會田梨紗さん
みひろちゃんのお母さんだ。
會田家は母子家庭で梨紗さんは女手ひとつで
みひろちゃんを育てている。

お母さん、
今日の夕飯は？
手伝う

キスの天ぶらよ、
みひろが揚げてみる？

うん！

あなたも
来るでしょ？

はい、
ご馳走になります

大学在学中からこんな感じで
お世話になりっぱなしで
いまや家族同然になっている。
みひろちゃんが小さい頃は梨紗さん不在時に
面倒見ていたりもした。

小学校の卒業式、中学の入学、卒業式、高校入学式等々
父親代わりという何だが同席させてもらった。
可愛い可愛い大事な女の子だ。

それだけじゃ無く
俺はこの母子に何度も助けてもらった。

就活で苦しんでたときも、
付き合っていた彼女に振られて
落ち込んだときも励ましてくれた。

就職が決まったときはお祝いもしてくれた。
その時みひろちゃんから貰ったネクタイは俺の宝物だ。



今はよくご馳走になっている事もあり
給料の一部を會田家に入れている。
みひろちゃんが大学受験を控えて色々
と物入りだろうから
せめてもの恩返しだ。

そのみひろちゃんはすっかりお年頃で
女らしくなってきた。
俺が言うのもナンだが
凄く性的にも魅力的だ。
つまりエロい。

悪い男に引っかけられないかと
心配な日々だ。

悪い男じゃ無ければ良いのかというと
複雑な気分だ。
娘を持つ父親の心境ってこんな感じなんだろうか…。





梨紗さん
ごちそうさまでした

お粗末様でした

おじちゃん、
私の揚げた天ぷら
美味しかった？

ああ、
美味しかったよ

えへへ……

みひろ、
洗い物手伝って

はい



俺はみひろちゃんがこつちを
見ていないのを確認して
OKサインを出す。

みひろちゃんが台所へ行くと梨紗さんが
俺に向かってウインクしてきた。



こんばんは♡

夜遅くなってから
梨紗さんが訪ねてきた。

いらっしやい、
みひろちゃんは…？

大丈夫、
もう寝ちゃったわ

俺は梨紗さんを抱き寄せキスをし、
ベッドに押し倒した。

そう
あれは付き合っていた
彼女に振られた夜の事。

梨紗さんつつつつ！！

振られた俺を深夜に
こっそりと訪ねてきて
慰めてくれている梨紗さんを
強引に押し倒した。

初めて会ったときから
こうしたいと思っていた。
理性がそれを押しとどめていたが
振られてヤケになっていた。

ああ……っ

梨紗さんの体に触れると
違和感があった。
もしかして……



服をめくると
下着を着けていなかった。

梨紗さん……

うふ、
私、そういう気で
来たのよ……

良いのよ、
私みたいなおばさんで良ければ
あなたの好きなだけ使って……



お世辞じゃなくて本当に。
みひろちゃん
産んだとは思えないくらい

ありがとう、
あなたのもとても立派ね

梨紗さん綺麗です...

ありがとう
お世辞でも嬉しいわ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



うん、
好きなだけ中に出して、
私も欲しいの……

良いんですか？

大丈夫だから
そのまま頂戴♡

あ、ゴム無いや……

こんな凄なおちんちんに
貫かれたら
どうなっちゃうのかしら？
久しぶりだからちよつと怖いわ

俺の肉棒は既に
ギンギンにそそり立っていた。



梨紗さんの膣が久しぶりの肉棒を味わうようにウネウネとうごめきながらギューギューに締め付けてくる

おっっ

あぁあぁあぁ
あぁんっっ!

梨紗さんのすっかり濡れそぼった蜜壺に俺の肉棒を一気に奥まで突き入れた。



梨紗さんつつつつ！

梨紗さんの口から
淫靡なささやきが漏れると
俺の理性が吹っ飛んだ気がした。

ああ…
動いて…っ
私のオマンコ
グチョグチョに突いて…っ

梨紗さんのも
すごく気持ちいいです

ああ…
久しぶりのおちんちん、
気持ちいい…っ

まん♡

は♡

ちゅ♡

ちゅ♡



ああん、
もつと、
もつと突いてっつ！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ふっ
ふっ
ふっ

あっ、あっ、
あっ、あっ、あっ、

あ
ん
ん
ん

ん
ん
ん



梨紗さん、
出ちやうつつっ!

イツちやうツツツ
若いオチンポで
イツちやうツツツ!

出してっ
オマンコに精子
ちようだいツツツ!

ああつつっ!
激しいツツツ

んっ♡

あっ♡

んっ♡

あっ♡

ズッ

パッ

ズッ

パチュ

ズッ



アアアアア
アアアアア
アアアアア

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

おおおお
おおおお
おおおお

ビクッ
ビクッ
ビクッ



ドロ...

ちゅん...

はあ、はあ、はあ、
はあ、はあ

たうん

たうん

たうん

はあ♡

はあ

あん.....っ

あ♡

ん♡
はあ♡



すみません、
俺夢中であまり
優しく出来なくて……

良いのよ
私も気持ちよかったわ、
乱れちゃって恥ずかしい……

梨紗さん……

ねえ、
これからも時々で良いから
エッチしない？

俺で良ければ……

うふふ♡

それ以来俺は梨紗さんとこんなセフレ関係だ。
お互いエッチしたくなって都合が付けば
セックスしている。
みひろちゃんにバレないかヒヤヒヤしつつも
梨紗さんとのセックスにハマってしまっている。



ねえ、
次はお尻にちようだい♡

梨紗さん、
お尻も好きですね

あなたも好きでしょ？

フワッ

ドキ
ドキ

大好きです

うふふ



キツイ菊門に亀頭を
一気に押し込んだ。

ああ、梨紗さんのお尻
締め付けよくて気持ちいい

あ、くうんっっっ

ピクッ

もっど、
お、奥に来て...っ

ズヌズ



あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ

一気に根元まで押し込んだ。
中のヌルヌル感が気持ちいい。

あ、かはっ
この感じ、好きい……っ♡

グニユウ

ビクッ

ビクッ

ズッ



来て、動いて...
お尻の中グチョグチョに
かき回してえ...

動きますよ

は♡
ぞき
ぞき

まずはややゆっくりと動かして中の感触をじっくりと楽しむ

んくっ、あん、ああんっ

んっ、んっ、んっ、んっ

梨紗さん、激しくて良いですか？

来てえ、お尻の穴めちやくちやに犯してえ…っ





きもちいい、
きもちいいのっっ
おしりセックス
いいのっっ♡

ズ
ズ
ズ

アンツ、アンツ、アンツ、
アンツ、アンツ、
アンツ

フ
フ
フ

パ
パ
パ

ジ
ジ
ジ



出ます！
出しますよ！

きてっっ！
だしてっっ！
お尻に中出ししてっっ

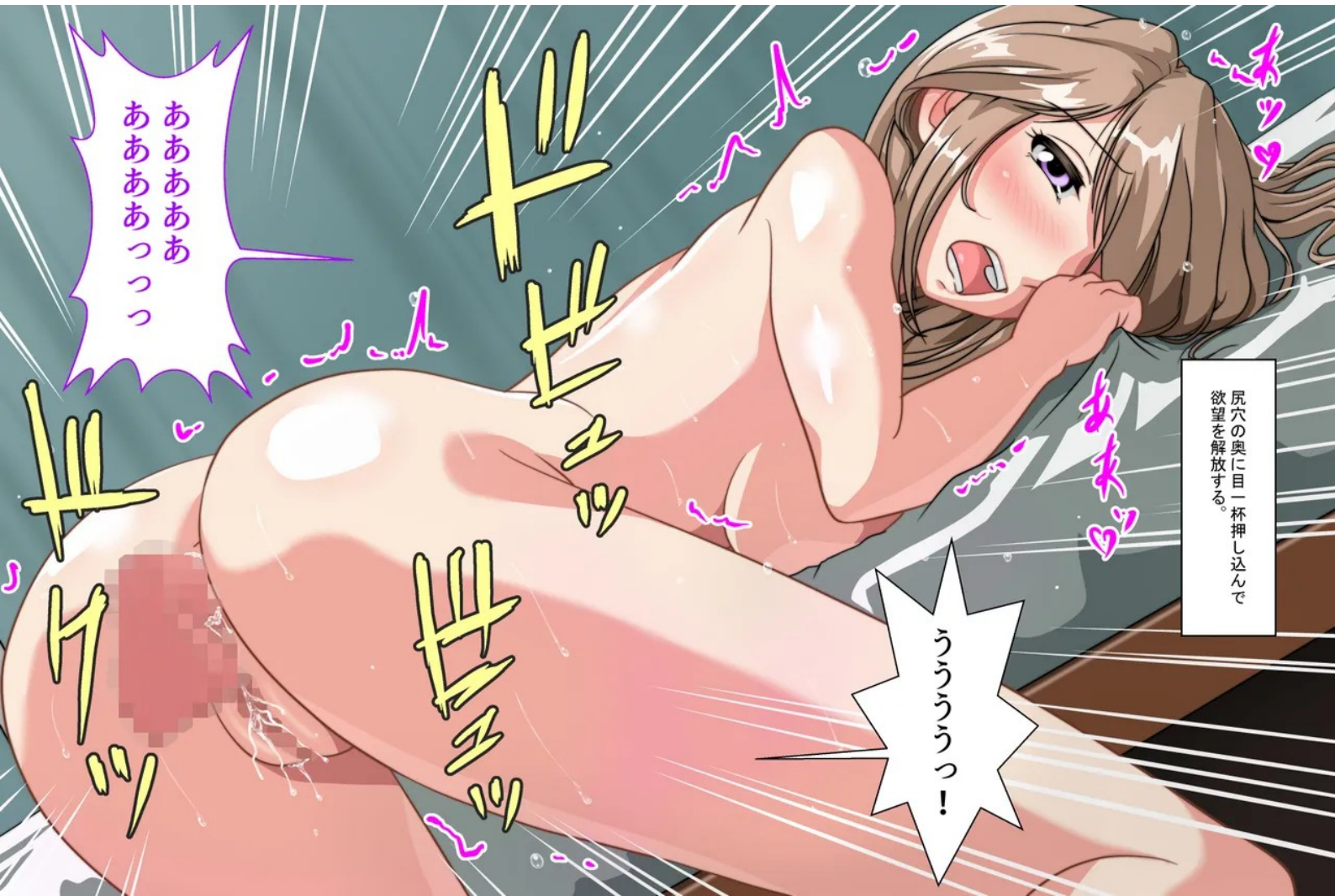
ブキュ

アッ
アッ
バキュ
バキュ

アッ
アッ
アッ
アッ

バ
バ
バ
バ

アッ
アッ
アッ
アッ



あああああ
あああああ

!!

尻穴の奥に目一杯押し込んで
欲望を解放する。

チンコを抜くと、
広がっていた肛門が再び
キュッと締まっていく。
なんとも淫靡な瞬間だ。



♡はあ

♡はあ

♡はあ

♡はあ

あん……っ♡

♡はあ

♡はあ

♡はあ



せっかく出してくれた
ザーメン出てきちゃう...

あん♡

くっさ...



ねえ、もう一回しない？

良いですよ、
どつちに？

うふふ、
両方もう一回すっぴんでしょ？

梨紗さん、
相変わらず底なしですね

そう言いつつ
俺は梨紗さんを抱き寄せた。



うふ、気持ちよかったわ

俺も良かったです。

みひろにバレないか
スリリングだからかしら？

そ、そんなことは…

何で今そんな事を…



そうそう、
最近みひろに好きな人が
出来たみたい

えっっっ!?

気になる？

そりゃあ、その、
小さい頃から知っていますから…
もうとっくに年頃ですから
覚悟はしていました…

そうね、
ちよっと遅いくらいかも



でもあのコ、
男の人の趣味がね……

うん、
悪くは無んだけどね……

え、悪いんですか？




ううっ、心配だな……

ねえ、
あの子から相談されたら
真剣に受け止めてあげてね

はい、
もちろんです！

みひろちゃん……
初めて会った頃は
人見知りしたのか
俺と話してくれなかった。



どうしたんだい
みひろちゃん？

ある日帰宅すると
みひろちゃんが
玄関前の廊下でしゃがんで
しょんぼりしていた。



鍵無くしちゃって
家に入れないの…

そうか、
それは大変だね。

そうだ、
おじちゃんチョコレート
持ってるんだ
食べるかい？

その時たまたま
持っていたチョコレートを
みひろちゃんに勧めた。

チョコ好き？

うん、大好きー！

うん、食べるー！

うんうん、
子供には甘いお菓子が一番だ。



それから梨紗さんが帰ってくるまで
廊下でみひろちゃんと色々なお話をした。
学校の事、友達の話、
勉強の事……

以来みひろちゃんから
懐かれる様になり
何かあるたびに彼女から
話を聞く様になった。

あれからもう10年か…。



梨紗さんから言われて数日後の夜、二人きりで大事な話があるとみひろちゃんが訪ねてきた。

とても大事な事だから、おじちゃんにしか相談できないの……

そこまで頼ってくれるとは嬉しい。誠心誠意、彼女に応えよう。

あの、が、学校の、す、好きな人が……

ううっ
やはりそうきたか……
胸が締め付けられる想いだ
がここは耐えるんだ。





その、
エッチの事なんだけど…。

「処女は面倒だから
経験済みの方が良い」って……

いきなりそちに行くのかい！
ま、まあ俺もこれくらいのも
年にはそんなだったけどな……。

俺は軽くずっこけた。



そ、そんなやつが
いるのか？

うん……

俺からすれば
好きなコの初めてになれる
なんて嬉しい事なんだけどな

そ、そうなの……？

ああ！
でも、その辺の価値観は
人それぞれだからなあ



あの、それでね
教えて欲しいの…

え、
エッチの事をかい？

みひろは耳まで
真っ赤にしてうなづいた。

保健体育的な事で良いのかな？
それともいわゆる四十八手とか？
図解ならあるぞ



でもなあ…

おじちゃんなら…

俺で良いのか？

うん、
あたしの処女もらって…

本気で言っているのか？

うん

俺と!?

そうじゃなくて、その
あたしとエッチしてほしいの…



お母さんとは
してるのに？

ぶっ

なんてこった
バシてたのか…

だから、お願い……

懇願してくるみひろの
願いを拒否するも心が痛む…

ええい、
俺も男だ、そこまで言われて
引き下がるわけには行かない。

梨紗さんすみません。
みひろちゃんの処女を
貰う事になりました……。



みひろちゃん、
本当に良いの？

うん、
あたし、後悔しないから

こうなったら俺も
みひろちゃんを後悔させないよう
尽くす事にしよう。

俺は制服を脱がしにかかった。



淡い水色の
可愛い下着が姿を現した。

可愛い下着だね

うん、
おじちゃん、こ、
ここういうの好きかなって…。

ああ、好きだよ

ドキ
ドキ
えへへ♡

せっかく着てきてくれたのに
ちよっと惜しいが
脱がしていく。





そこには誰も触れた事のない
綺麗な肢体が横たわっている。
立派に成長したなあ……

みひろちゃん、
綺麗だよ……

おじちゃん……♡

キキキ♡

キキキ♡

キキキ

キキ

キキ



舐めるよ

あん、
く、クンニだっけ？

そう

あ、
き、気持ちいよっ

トロ
トロ
チュッ

れろ
れろ
チュッ

美味しいよ
みひろのオマンコ

いやあ…♡

指、入れるよ。
痛かったら言うんだよ

うん、多分大丈夫だから



んんくっ

小さな割れ目に指を
ゆっくりと入れていく。
もうすっかり濡れていた。
そこそこ慣れている感じだ。

痛くない？

うん、
じ、自分でも
してるから...

あゆふ...

又チユ...

チユ...

自分でするのは
違う感じ...
おじちゃんの指、気持ちいい...

そうだな、
そういう年頃だもんな。

もう大丈夫そうだな



じゃあ入れるぞ…

うんつつつ

ザキ

ザキ

びびん…

そう固くならないで
力を抜いて

わ、わかってる…

ザキ

ザキ

びびん



みひろの身体が
ビクッと震えた。

んんっ

入り口にチンコをあてがう。

…うん

いくぞ

ビクッ

ちゅ…

ビクッ

ん

ん

く

ん

ん

く

ん

ん

ん



まだ固い入り口をこじ開けて
押し込んでいく。

ひ、グツツ!

みち...

フキッ...

大丈夫?
やめようか?

大丈夫、
そのまま、
お、奥に.....っ

奥まで到達すると
血がにじみ出てきた。

ん、
は、入ってる……っ

ああ、
奥まで届いているよ

キュン♡

みぢ……

じわ……

ああ、
おじちゃんのが奥に……

痛くない？

思ってたほどじゃないから
大丈夫……

いい？
動くよ

うん……っ

ん……♡
お♡

はぁ♡
お♡

ドキ
ドキ





まずは慣らすように
ゆっくりと動かす。

あ、んっ
んくっ、んんんっ

みひろ
痛いかい？

だ、だいじょうぶ、
いいきもちいいのっ

オナニーをだいぶしていた
みたいだから大丈夫かな？

強く行くよ

うん、
きてっ♡

んっ♡

んっ♡

ズ
ズ



動きを早める。
みひろの小さな体が跳ねる。

良いよ
みひろのオマンコ
気持ちいいよっつ

ああっつ！
あんっつ
アクッツツ

ブツッ
ブツッ

ブツ
ブツ

バキュ
バン

ああん
嬉しいツツツ！

おじちゃん、
もっと、もっと突いてっつ



ごめん、俺、もう出そうだった

いいよっ
大丈夫だから
そのままちょうだいっ

でせうっ

大事な初めてだから
最後までしたいのっ

わかった、
いくよっ

あーっ

あーっ

あーっ

ズッ
キュッ
ズッ
キュッ

ズッ
ズッ
キュッ
キュッ



奥まで突き入れて
思いっきり射精する。

うっうっうっうっ！

あああああ
ああっつっつ

キッ

キョッ

キョッ



あんっ……

射精が終わる
肉棒を抜くと
小さい割れ目の奥から
血の混じった精液があふれ出てくる。

はぁ♡
はぁ♡

だん!
だん!

あぁ…
すご…♡

はぁ♡

だん!

しゅめ…

だん…



痛かったろう
よく頑張ったね

えへへ、
大丈夫だよ。
思ってたほどじゃなかったし
その、気持ちよかった！

そうか、
俺も気持ちよかったよ

えへへ♡

はあ♡
はあ♡

はあ♡
はあ♡

はあ♡

キム♡
キム♡

ドキ

ドキ

「おじちゃん
ふえ、フェラチオして良い？」

「え、良いの？」

「男の人って
好きなんでしょ？」

「そりゃあ…、好きだけど」

「ねえ、練習させて」

「……ああ、わかった」

こうなったら
みひろちゃんの気が済むまで
付き合おう



ああ、おじちゃんのおちんちん…

はあ…♡



たろ

や回

これがあたしの中に
入ってんだ…

そうつぶやきながら
まだ乾かない肉棒に舌を這わせる。

おおっ
みひろちゃん、
気持ちいいぞっ



ん、ふえーんか...

んむっ、
ん ん ん

大丈夫か？
苦しくない？

ん

ん



んふうんんっ
んくうんんん

ちやく

もーびー

んっ♡

奥まで啜え込もうとしてくる。
さらに中で舌を絡めてくる。

いいぞ
そのまま頭を上下させてみて



おおおっ
良いぞっ

まだ不自然さはあるが
気持ちよくさせようと懸命に
動いてくれる。

いゅわっ

くっわっ

んくっ、んんっ

くちゅ

くぽっ



はあ♡

はあ♡

はあ♡
はあ♡

どう?
気持ちいいかな...?

えへへ

ああ、凄く良いぞ
その調子で頼む

ん♡



んっ

ぐちゅ

ぐぽ

みひろちゃん、
もう出ちゃうよっ

ぐぽ
ぐぽ

ちゅ
ちゅ

んっ、んっ、んっ、
んっ、んっ、んっ

いいぞ、
みひろちゃんのフェラ。
初めてなのに梨紗さんにも
勝るとも劣らない気持ちよさだ

ぐぽ



んんんっ!
んんん
んんん

ドコッ
ドコッ
ドコッ

おおおおおっっっ!

俺はみひろちゃんの
口内へと射精した。

ドコッ
ドコッ
ドコッ



みひろちゃん...!?

んっ、
ごっ、ごっ、ごっ

びくびく
びくびく

びくびく
びくびく

の、飲んじやったのか？

ダメだった？

えろ
えろ

いや、嬉しいけど
みひろちゃんこそ良いのか？

うん、飲んでみたかったし
おいしかったよ♡

梨紗さんもよく飲んでくれるけど
その娘だというだけあるのかな…



おじちゃんの
まだ固いね

もう、やだ...

ああ、みひろちゃんが
魅力的だからね

ビーン

ビーン

次はどうする？
もう終わるか？

うん、
もう少し教えて
欲しいな...♡



よし
次はバックだ

大丈夫だよ
可愛いから

あん、
なんか恥ずかしい

やだもう、
おじちゃんのかか...

ドキ

キュン♡

キュン♡

ドキ

ドキ



大丈夫か？

あああんんっっ

まだ使い込んでいない膣穴の奥まで一気に挿入する。



動かすよ...

うん、
動いて...

大丈夫だよ...
さっきよりずっと気持ちいい...

あ...♡



時間をかけて
ゆっくりと抜いていく

みひろの体がビクビクと震える。

それをしばらく続けていると
みひろから懇願してきた

い、あぁっ、あぁっ

あ、くう...んんっ

入り口近くに戻ったら
再びゆっくりと押し込んでいく

おじちゃん、
もっと、
もっと激しくしてえ...っ

少し動きを早めると
歓喜の声を上げる。

もうやみつきになっちゃったか
みひろはエッチなコだね

いやっ、だっ、
だっ、ええっ

ああんっ、あっ
良いっ、良いのっ！

奥にズンズン当たって
気持ちいいのっっ



そろそろ限界だ

いくぞっ
中に出すぞツツツ

きてっ、だしてっっっ
あたしもイッチャうツツツ！





みひろの奥に
全力で撃ち込んだ。

アアアアア
アアアツツツ

ウウウウウ
ウウウウウ
!

フッ
フッ
フッ

フッ
フッ
フッ

フッ
フッ
フッ

フッ
フッ
フッ



ぜーぜーぜー
ぜーぜーぜー

あくっ、ああ...っ
おじちゃんのせーし
いっぱい...っ♡

はー♡
はー♡

だく...だく...

だく...だく...
だく...だく...

だく...



みひろちゃん
まだ2回目なのに
とても良いみたいだね

あん♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

うん、
セックスって
気持ちいい…♡



あゝあゝ
みひろちゃんと
やっちまっちゃったよ…

頼まれたとは言え
大事な女の子とエッチしちゃったよ…
半ば色欲に心を奪われてしまった…

おじちゃん、
ありがとう、気持ちよかった

そ、それはよかった

素敵な初体験だったよ♡

あはは…



どうした？

う…ん…

えとね…

これで安心して
す、好きなヤツに告白できるな



もう少し
色々教えて欲しいな

え？

その、お母さんとも
もっと色んなエッチ
してるんでしょ？

ええと、まあ、ね……

んんん、
話じじじ……っ



良いの？
俺で？

うん…

だからあたしにも
色んなエッチ教えて…

まじかー!?

今更後にも引けないか…っ

わかった、
俺の趣味の範囲で良ければ
お、教えるよ！

うん！

え、
えらいことになった……



それからというもの

みひろちゃんはこっそり訪ねて来ては

俺とエッチの練習と称して

交わりに来るようになった。

今日は騎乗位の練習だ。

これでいいの？

ヤキ

ヤキ

ヤキ

ヤキ

ああ、
自分で当てる腰を下ろして
入れていくんだ

うん…



みひろは
慣れない動きで
自らに差し込んでいく。

あく……っ

どうだ？

あ、奥まで
っ……っ……っ……っ

ああ、俺も気持ちいいぞ





う、うん

えと、
どう動けば良いの？

みひろが気持ちいい
ように動いてごらん

ん...

ん...

ち...

くち...



あ、ん、んっ…

あ、だめっ
い、いく…っ

ビ
グ
ッ

ザ
グ
ッ

ん
っ
ん
っ
ん
っ

び
ん
ん

ビ
グ
ッ

び
ん
ん

く
ち
ゅ



はあ、はあ
ごめんなさい
あたしだけイツちやった...

はあ♡
はあ♡

♡ん♡

はあ♡
はあ

え？

良いんだよ。
じゃあ今度は俺も動くから
上手く合わせるんだよ



俺は下から激しく突き上げる。

あああつっ！
だめっつ！

い、いった、
ばかり、だからあつっ

敏感になった身体が
容赦ない快樂に震える。

あひっ、あつ
ああああああんっつ！

ひっ♡
んっ♡
んっ♡



きてっ
あたしも、い、
イツひやうつつつつ

そろそろいくよ！



あん、んっ

気持ちよすぎて
死んじゃうかと思った…

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

おじちゃん…♡

キュン♡

キュン♡

はぁ♡

大丈夫だよ、
俺がついてるから



あら、お帰りなさい

ただいま

今日の夕飯はハンバーグよ
出来たら呼ぶわね

はい

最近梨紗さんからエッチの方のお誘いが無いけど
こっちから誘った方が良いかな…
でもみひろちゃんの事があるから
誘いにくいな…

今回はアナルセックスの練習…

本当に良いの？

うん、
好きな人多いって言うし
あたしも興味あるし…

ドキ
ドキ

うう、
最近の若いもんは
進んでるなあ…。
いや、俺もそうだったか。

ドキ
ドキ





そう思いつつ
すっかりギンギンに起っている
俺の息子…
仕方ない

それじゃあいくよ
みひろちゃん

うん、
アナルオナニーしてるから
多分大丈夫…

お…♡

してるんかい！
まったくこのコは…

ドキ

ドキ



大丈夫？
無理するなよ

んんくっつ

だ、だいじょうぶだから
もつと……っ

バージンアナルに
ペニスを押し込んでいく。
さすがにキツイ。
自分でもしているとは言っていたが
こんなに太いモノは初めてだろう。

根元まで押し込んだ。
中はヌルヌルで
入り口は強烈な締め付けが気持ちいい。

みち...

あ...っ

はいっちゃった...
おじちゃんのおちんちん...
おしりに...

痛くないかい？

ちやく...

へ、平気
気持ちいいよ...っ

じゃあ動くよ

うん、きて...



バージンアナルを
味わうようにゆっくりと動く。



梨紗さんもおしり好きだもんなあ

いいのっ
おしりセックス気持ちいいっ

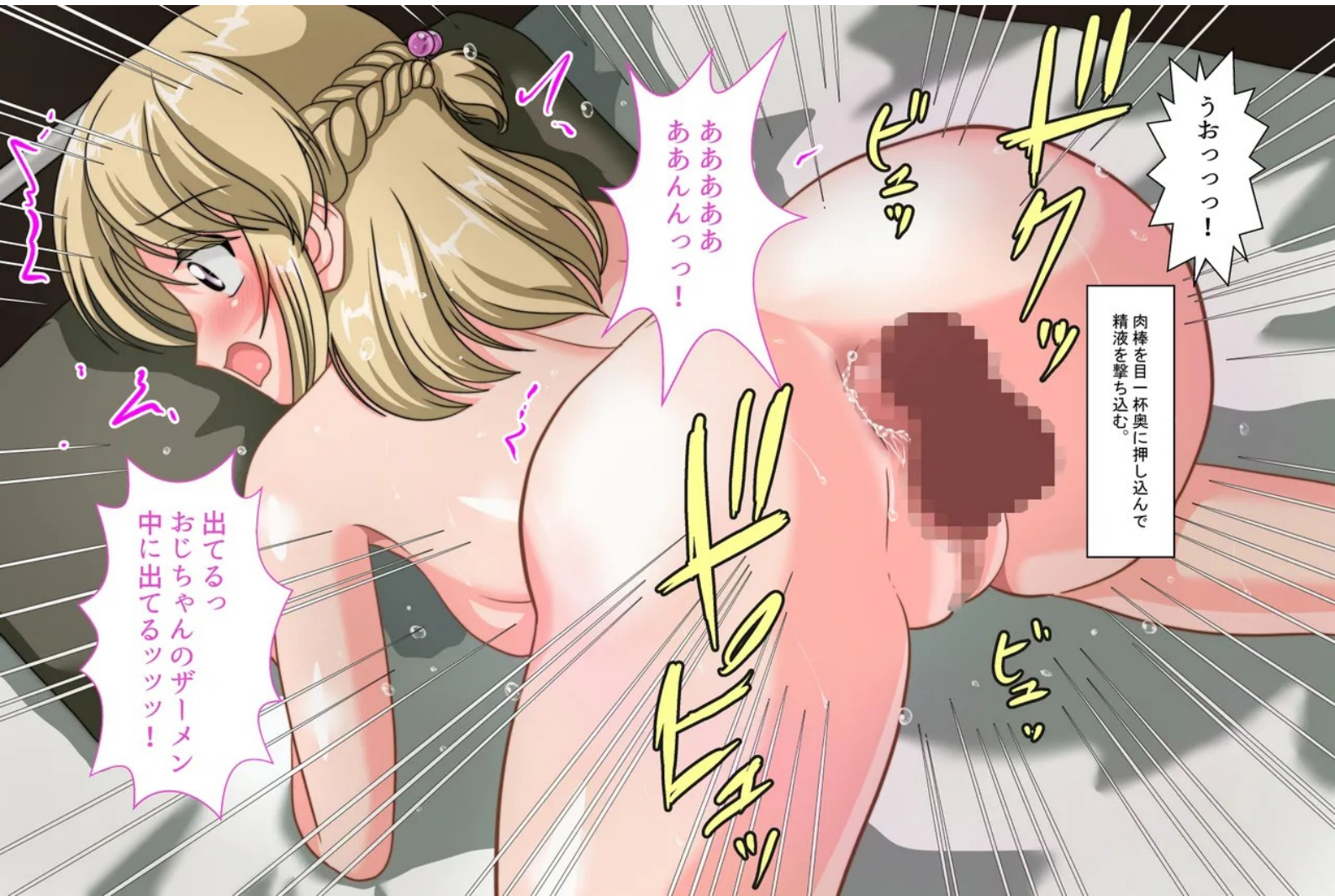
どうだい
みひろちゃん？

あん、あん、
あうっんくっつ

チュッ
チュッ

はっ
あう
フッ

フッ
フッ



うおっっっ!

肉棒を目一杯奥に押し込んで
精液を撃ち込む。

あぁあぁあぁ
ああんっつっ!

出てるっ
おじちゃんのザーメン
中に出てるツツツ!



あうんっ

キュッ

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ああ…♡

チンコを抜くと
広がっていた肛門がキュッと締まる。
梨紗さんとそっくりだ。



おじちゃん、
気持ちよかった…

俺も良かったよ

たの…

ズビッ…

初アナルでイッちゃった…

まあ良い事だよ

えへへ…♡

あ…♡

おん…♡



ちよつとそこの貴方!

は、ハイ!

みひろちゃんが好きな相手って
どんなヤツなんだろうかと
確かめたくて、ダメ元で学校に来てみた。
あいつか?
それともあいつか?



そこで何を
しているん
ですか？

ヤバい
考えてみたら
完全に不審者だぞ俺

えっと、
知っている子
がここに
通っていて…



うん、
隣に住んでいるおじちゃん

みさおちゃん
遅れてごめん、
て
おじちゃん？

みひろ、
知り合いなの？



だって
おじちゃんはおじちゃんだし

ああ、この人が…
随分と若そうなおじちゃんね

へえ…

何だこのコ
俺を品定めするよに…



もー
おじちゃん何しに来たの？

失礼しました。
でも学校の周りで
生徒をじろじろ見るようなまねは
感心しませんね、注意してください

えと、
仕事が早く終わったんで
みひろちゃんと一緒に帰ろうかと…

あ、いやすみません…



みひろ、私
用を思い出したから
行くね

またね、うふふ

それじゃあみひろの事
よろしくお願いします

あ、操ちゃん：
わかった、また明日

あ、うん……？



おじちゃんと一緒に帰るの
入学式の時以来だね

ああ、そうだな

あたし、
成長したかな…？

少なくとも
制服は馴染んだな

それ褒めてる？

そのつもりだよ、
イヤかい？

そんなことないよ
えへへ♡

さっきの子、
みさおちゃんだっけ？
仲いいのかい？

うん、
クラス委員長で
勉強も出来るんだよ

最近年上のカレシが
出来たんだった。
とっても幸せそうなの

幸せそう…か
みひろちゃんはいま
そういう意味で幸せなんだろうか
その笑顔は幸せそうに見える、
今はそれを信じよう。



その日、みひろちゃんは一つ決断をすと言って
学校に行った。いよいよ告白するのだから。
上手く行ってくれば良いなと思う一方で

今や俺にとって
みひろちゃんは「昔から知っている隣の女の子」
以上の存在になってしまっていた。

彼女が離れて行ってしまふのかもしれないと思うと
つらいのも本音だが
俺はみひろちゃん自身の選択を尊重したい。





俺は早めに仕事を切り上げ、
寄り道もせずに急いで帰宅した。
みひろちゃんの告白が上手く行けば祝い、
ダメだったら慰めるつもりだ。



ただいまー

大丈夫だから
どんと構えていて
あの子のためにも

梨紗さんと一緒にみひろちゃんの掃宅を待った。
帰ってきてどんな顔していてもいつも通りに
「おかえり」って言って迎えよう。

は、ハイ！

か、帰ってきた……っ



お、お帰りみひろちゃん

た、ただいま……

うわあ
顔真っ赤にしてる。
いったいどうなったんだ……。

あの、おじちゃん……

ん、なんだい？



え……っつ
俺……っつ？

ずっとおじちゃんの
事が好きでした。
あたしと付き合っ
てください……っ！

みひろは真っ赤になって頷く。

学校にいる好きな人は？

何でそんな嘘を？

ごめんなさい、嘘なの

それでも言わないとおじちゃん
あたしとエッチして
くれそうに無かったし……

あわわ、エッチって
梨紗さんを見るとニコニコ笑っている。
「真剣に受け止めてあげてね」って
こういふことだったのか……。

あたしじゃダメ……？

みひろちゃんは勇気を出して
俺を選んだ、選んでくれた。
俺も自分の意思で選ばなければ。

答えはひとつだった。



うん!

おめでとう!
みひろ

おじちゃん…っ♡

分かった、俺で良ければ!



うふふ、
娘に寝取られちゃったわね

寝取られて、
でも梨紗さんどうするんだろう。
外に男作ったりするの？
それもなんかイヤだな。
うう、勝手だ俺！



ええ、そうよ

お母さんとおじちゃんて
そのせ、セフレなんだよね...?

何か軽く言われたけど
その通りだ。



あら良いの？

お母さんも
これまで通りにおじちゃんと
エッチしてもあたしは良いよ

うん、
お母さんだって
エッチしたとき
あるだろうし…



あらあら、妬げちゃうわね

でも今一番大事なのは
みひろちゃんです

おじちゃん…♡

貴方はどう？

俺も良いですよ。
俺にとって二人とも大事ですから

願ってもない提案だ
賛成するしかない。



そうよ、
よく勉強したわね

そこ褒めて良いんですか

3P、とか
親子丼ていうのよね

あら、良いわね

ねえ、
これからお母さんと
一緒にしようよ

えええつつつ？

というわけで
會田家の寝室で3Pとなった。

俺の目の前には美しい母娘の裸体が
並んでいる。





みひろだって綺麗よ。
カレが夢中になっちゃうのも解るわ

お母さん綺麗…

ふたりとも綺麗ですよ
俺が独り占めして良いのか
戸惑うくらいです。

おじちゃん…

キョーン♡

キョーン♡

うふ、有り難う
お世辞でも嬉しいわ

お世辞なんかじゃ有りませんよ。
本当に俺は幸せ者です



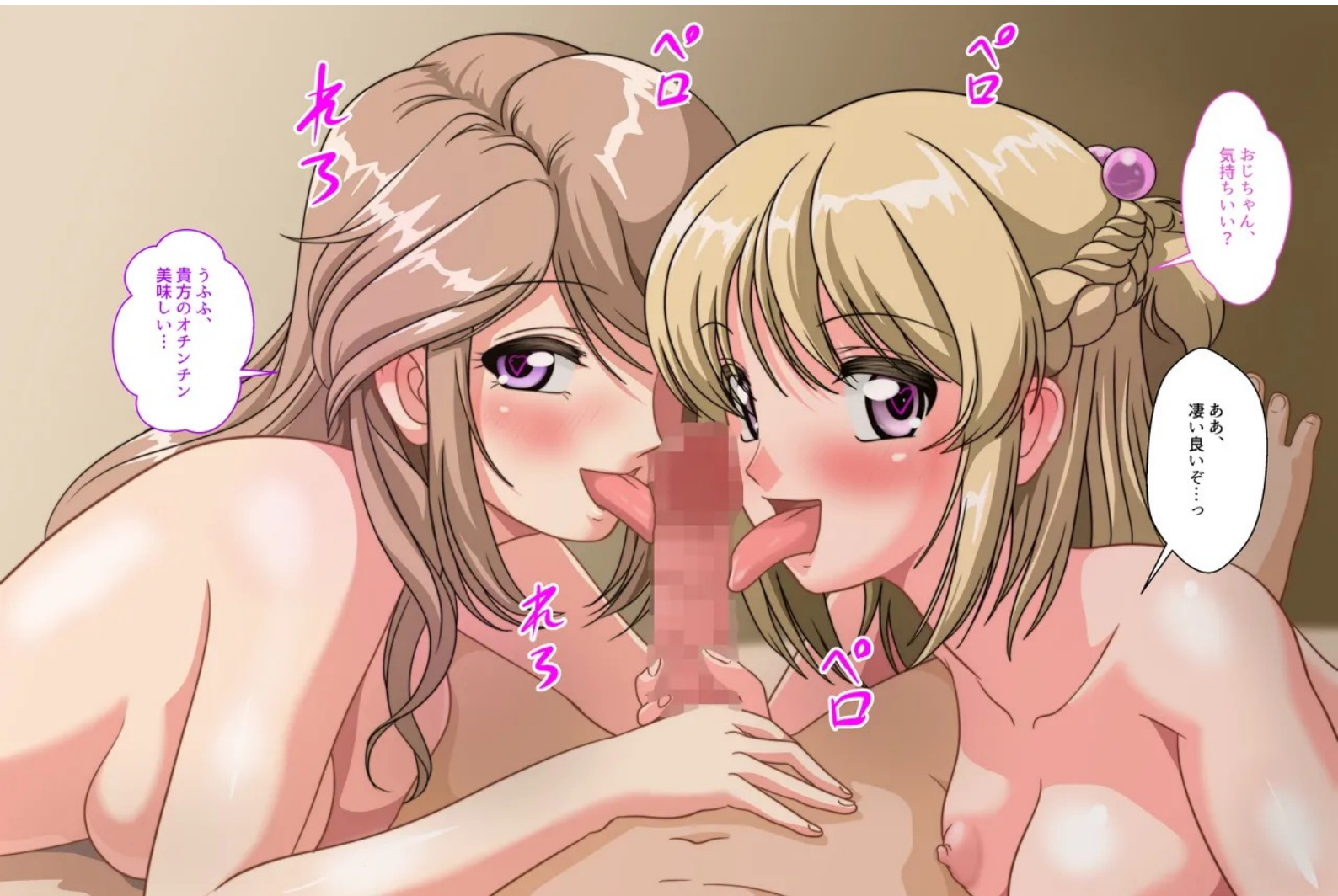


所で3Pで
俺初めてなんです

あたしも知識しか…

あたしだってそうよ

ええと、
じゃあとりあえず…



うふふ、
貴方のオチンチン
美味しい！

おじちゃん、
気持ちいい？

ああ、
凄い良いぞ…っ

れろ

へろ

へろ

れろ

へろ



ええ、大好きよ。
みひろに弟か妹を
作ってあげたいって
考えた事もあるくらい♡

り、梨紗さん…っ

うふ♡

はあ♡

ん♡

はあ♡

お母さんも
このオチンチン好きなの？

あん♡



でも貴方が息子に
なってくれて
嬉しいわ

お母さん…

梨紗さん、それって

娘をよろしくね

はい、
もちろんです！

嬉しい…



あら嬉しい、私も二人とも大好きよ♡

おじちゃんもお母さんも大好きっ♡

俺も二人とも大好きです！

二人は懸命に俺の亀頭を刺激してくる。頭がしびれそうだ。

ちゅく

れろ

れろ

ちゅ

れろ

ちゅ

ぽろ

ぽろ



おおっっ
もう出ちゃうよっ

あん、
ダメよ、ここで出しちゃ

お母さんの中に
出してあげて

一番はみひろなんだから
みひろの中にまず出してあげて

それじゃあ…



いくよ、
みひろちゃん

みひろちゃんからだ
梨紗さんの言うとおり
彼女は俺の一番だから。

ああ、
おじちゃん…
きて…



湿った音を立てて
若い割れ目が
肉棒を飲み込んでいく。

すっかり準備完了している
みひろの腔に押し込んでいく

はあ、あ
うんんんっ

じゅるっ

ズ
ズ
ズ

ぐろっ

あ...

う...



奥まで到達すると
膣穴がもう離さないと
ばかりに締め付けてくる

ズッ

ああ、
おじちゃん、
大好きい…

愛してるよ
みひろ

あああああ
ああんっっ！

グチゅ…

ピクッ
ピクッ
ピクッ

ああん…♡



いつも以上に味わうように
みひろの臍をかき回す。

良いよ、
みひろのオマンコ
気持ちいいぞっ！

ああ、嬉しいっ
おじちゃんのおチンチンも
気持ち良いっっ！

あゝ♡
あゝ♡

なん♡

あゝ♡

ズッ

ズッ

バツ

グググ

ズッ

ズッ



ああっ、あくっ
んああっっ

バ
ン
ッ

ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ

ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ

ズ
ッ
ズ
ッ

うくっ、
うっっ、ひっ

さらに激しく
突き入れる。
湿った音とともに
汗をまき散らす。



きてっ、だしてっっっ
おじちゃんのであたしの中
いっばいにしてッッッ

ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ

パニ
クチュ

イクぞ、
みひろの中に出すぞっっ！

射精感がこみ上げてきた。
中に出したい。
愛するみひろの中に
俺の精子を注ぎ込みたい。



幸せな射精感だ。
ずっとみひろの中に射精していたい...

ああ...
あたしの中で
何度もびゅっびゅっ
してらう...♡♡

愛欲に任せて
俺の意思から避妊の事なんて
すっぱり抜け落ちていた。



チンコを抜くと大量のザーメンが
あふれ出てくる。

ごめん、
出し過ぎちゃったかも…

大丈夫だよ。
それに出来ても
おじちゃんの赤ちゃんなら…

みひろ…

良かったわね、みひろ

次はお母さんにね

ああ、
行きますよ梨紗さん

あん♡



ああん
いきなり挿れるなんて

スブチユ...

グチユ...

梨紗さんもうこんなに
濡れてるじゃないですか

いやん♡

あ...

♡

♡

♡

♡



どうして欲しいですか？

突いてエ、
奥をズンズン突いて欲しいのおツ

ズンズンチユ...

グチユ...

グチユ...

あん、
奥まで入ってきたあ...っ

チユッ...

んん...♡

んん♡

ごめんなさい
お母さんカレのおチンポが
大好きなお...

お母さんエッチ...



あたしも
お母さんみたいになれるかな...?

大丈夫、
みひろはもう充分エッチだよ

私の娘ですもの

はあん♡

んんっ♡

ズヌ...

クチュ...

トロ...

梨紗さん、
行きますよ!

あんっ



ああんっ、
いきなりそんなに激しくっ

あんっっ、
良いっ、
気持ち良いっっ♡

お母さん
気持ちよさそう

動きを緩めてみる

クチュ...

ヌヌ...

フプッ

パチュ

あああ...
だめえ...っ
激しく突いてえ
欲しいの...っ

あ♡

あ♡

は♡

ん♡

本当に淫乱な人だ
大好き。



望み通りに
激しく突き入れる。

ああんっ、
いいっつ
息子チンポ良いっ！

息子って…
じゃあ

ブチュッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズチュッ

ズッ

お義母さんって
呼んで良いですか？

ああんっ
困っちゃううつつ！

♡♡♡

あっ♡

んっ



そうだったんですか？

大丈夫よ。
IUDっていう
避妊具つけてるから

お母さん、
赤ちゃん出来ちゃいそう

ゴロ...

くちゅ...

はあ♡

はあ♡

あ...♡

うふふ、
やっぱりまだ
恥ずかしいわね。
みひろと結婚するまでは
名前で呼んで欲しいかしら

お義母さん...

ええ、
だから貴方と気軽に
中出しエッチ出来たのよ

はい、
梨紗さん

はあ...♡



ふたりに
目の前に寝転んで
脚を開いて貰った。

ああ、おじちゃん…っ

もう、
母娘をこんな風にして
眺めるなんて
エッチな人ね…

二人を交互に
犯しますね

まあ、
犯すだなんて…♡

犯して…
おじちゃん…っ♡

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



まずはみひろに挿入する。

ああんんっ

一気に奥まで押し込む。

ズブズブ...

グググ...

動くよ、みひろちゃん

きてえおじちゃん...

ああ、素敵なお眺め...

おま...



だいが慣れた感はあるが
まだキツイみひろの膣を
犯すまくる。

みひろが幸せそうでお母さん嬉しいわ

ああっ
あんっつ
気持ちいいよおおっつ

あたし怖いっ
幸せすぎて怖いのっ

大丈夫だよ
俺が付いてるからっ

おじちゃあんっつ

ズッ

ズッ

ズッ

グイユッ

グイユッ



いったん
みひろちゃんから引き抜く。

ああん、抜いちゃ
いやあ……っ

梨紗さん、行きますよ

あん……っ

ヌホッ……

クチュ……

梨紗さんの割れ目の奥に
一気に突き入れる。

あああんっ

ああ、
お母さん幸せそう

ええ
愛する娘と一緒に
気持ちよくなれるなんて
とっても幸せよ





みひろちゃんほどの
キツさはないが、
包み込むような感じが気持ちいい
梨紗さんのオマンコを味わう。

美人母娘をハメ比べしてるなんて
なんて幸せ者なんだろうか

あんっ、あんっ
あああっっ
いいっっっっ♡

アッ♡

アッ♡

女♡

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ブツ

ズキョッ



それっ
みひろちゃん
また入れるぞっ

あああんっ

ズッ
ババ

ズッ
ズッ

ズッ
ババ



ズッ

あああああ
あんっっ!

梨紗さんもっっ!

ズッ

ズッ

バキュッ

ズッ

ズッ

バキュッ



あつ、いいっ
もっつとおおっつ

ああああっ
あん、ああっつ

交互に挿入を繰り返していると
やがて二人を同時に
犯しているかのような
錯覚に陥っていた。

バチュ



みひろちゃんの
中に出すよっっ!!

ああ……っ
だしてっっっ

ブツッ
ブツッ
ブツッ
ブツッ
ブツッ
ブツッ

ブツッ
ブツッ

ブツッ
ブツッ

バチュ
バチュ

バ
バ



アァァァ

アァ

あぐろろろろ

おぉおぉおっっっ!

あぁあんんっつ

ダァ

ダァ

ダァ

ダァ



あん、おじちゃんのザーメン...♡

ああ、嬉しい...来て...♡

次は梨紗さん、行きますよ

いっぱい出して貰って良かったわね

♡

はあ

はあ

♡


あん...♡

はあ

た...♡

クチュ...

ドロ...



そうして俺は
二人と何度も交わり
射精し続けた。

何度も……。




素敵だったわ……♡

さすがに限界を超え
二人の間に倒れ込んだ。
柔らかな肢体に俺は包まれていった。

ああ……っ
んんっ♡

はあ、はあ、はあ、はあ、はあ



こうして俺は
隣の母娘とさらに
関係を深める事となった。

みひろちゃんは俺の健康を考えて
短大の栄養学科に進みたいそうだ。

梨紗さんからすればすぐに
結婚して欲しかったみたいだが
みひろちゃんの前向きな意志を
尊重してくれた。

俺は将来のために
貯金をしっかりする事にした。
まずは婚約指輪を買うために。
みひろちゃんにはどんな宝石が似合うかな…

END